

令和6年度 第6回 豊田市石野地域会議 会議録

開催日時	令和6年11月26日（火）	開会	閉会
		午後7時00分	午後8時00分
会 場	石野交流館1階 大会議室		
出席者	地域会議委員：12人		
	会長：溝上 喜美男 副会長：内藤 正弘		
	委員：阿部 金一 加藤 恭司 川井 正弘 河原 信昭		
	河原 美枝子 小山 伸二 清水 康代 塚本 まゆみ		
	中川 広恵 森久 剛		
欠席者	2人（安藤 貴央 成瀬 嘉則）		
傍聴者	0人		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、井沢主査		
内 容	1 豊田市民の誓い（唱和） 2 会長あいさつ 3 提言に対する市の回答について 4 地域課題解決事業の検証 5 令和7年度の地域会議日程について 6 わくわく事業現場確認について 7 情報共有・事務連絡		

■議事（要約）

3 提言に対する市の回答について

- ・提言に対する市の回答について、事務局が資料に基づき説明した。

4 地域課題解決事業の検証

- ・事務局が資料に基づき説明し、下記の質疑、意見交換の上、個人ワークとして回答シートを記入した。

（意見・質問）

委 員：この席で、当時まちあるきやマップづくりのワークショップに参加した委員はいませんか。当時のことがわかる委員がいたら教えてほしい。

委 員：10年前は現役世代であったので、この事業について承知していなかった。

事務局：事業をご存じなくても構わない。ご自身のまわりの防災取組、ご自身の防災意識の変化などを記入頂きたい。

委 員：寺下では、先日、自治区主催で防災訓練を実施した。消火訓練のほかに、炊き出し訓練も行った。自治区内には4組あり、今年は2組が炊き出しを担当した。今後も役割分担を決めて継続的に実施できるようにした。アイラップを活用し白米や蒸しパン、みそ玉による味噌汁等を提供した。こども世代も楽しく参加できるよう工夫した。

- 委員：事業のあった10年前、自分は区長をしていた。自治区でも10人程度でまちあるき、マップづくりのワークショップに参加した。
- 委員：防災の取組は継続することが重要だということで、事業を実施していた頃の自治区長らの呼びかけで、連合自主防災会が発足したと思う。当時は自分も働きに出ていた
- 委員：阪神淡路大震災の当時の現場を知っているので、身に染みて防災の必要性を感じている。
- 委員：この事業だったかどうかはわからないが、10年くらい前に自治区で防サイくんを呼んで体験を行った記憶がある。

5 令和7年度の地域会議日程について

- ・資料に基づき事務局から説明し、原案のとおり承認された。

6 わくわく事業現場確認について

- ・かみたきみのおまつり保存会
 - ・広瀬愛護会
 - ・フラワーガーデンかんぱち
- 上記団体の活動状況を事務局より報告

7 情報共有・事務連絡

- ・事務局から、地域会議員継続について確認、連絡を行った。
 - ・ミニ門松づくりの開催について
12月21日（土）9:30～11:30
 - ・産直市場も21日（土）をもって今年度活動を終了する予定。
- 委員：いこまい石野のホームページに情報を掲載したいので写真を頂けるとありがたい。来場者が多くて驚いた。
- 委員：消防ロッカーズに出演を依頼したがスケジュールが合わなかった。
- 委員：五平餅が好評で売り切れ完売だったと聞いている。

（次回の予定）

日時：令和6年12月24日（火）午後7時から
場所：石野交流館1階 大会議室
内容：地域課題解決事業の検証